

第5回

岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する重症心身障がい児が年々増加し、その多くが在宅生活を送るようになってきました。岐阜県では、その支援に携わる医療、看護、福祉、教育、行政等関係者が一体となって、課題に向けて知恵を出し合うとともに、相互に交流ができる関係づくりを目指し、小児在宅医療研究会を開催しています。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

テーマ レスパイトの拡大に向けて

日時 平成27年7月26日(日)

13:30~17:00(開場 13:00)

場所 岐阜県立看護大学 講堂
(羽島市江吉良町3047-1)

定員
200名様
参加無料

プログラム

13:30~13:35 **開会あいさつ**

久保田 芳則 岐阜県健康福祉部次長

13:35~13:50 **基調報告**

「岐阜県における短期入所の現状と課題」

山田 育康 岐阜県障がい児者医療推進室課長補佐

13:50~16:55 **シンポジウム「レスパイトの拡大に向けた取り組み」**

座長 泊 祐子 大阪医科大学 看護学部看護学科 家族看護学・小児看護学 教授

・報告: 13:50~16:10

①「大阪における短期入所のドタバタ騒動記」

市村 由美子 大阪発達総合療育センター 運営局長

②「在宅医療ケアの評価入院を活用したレスパイトの取り組み」

西角 一恵 神奈川県立こども医療センター 地域医療連携室長

③「開業医と重症心身障がい児者のレスパイト～試験的な取り組みを通じて～」

折居 恒治 折居クリニック院長&障がい福祉施設こぼんだ施設長

④「多治見における医療・福祉連携によるレスパイトの取り組み～天使の居場所を求めて～」

内田 清美 在宅支援グループみんなの手 看護師

⑤「利用者の立場から～レスパイト、私の過ごし方～」

大橋 美江 ショートステイを利用して自宅で生活をおくる娘さんの母親

・総合討論: 16:10~16:55

16:55~17:00 **閉会あいさつ**

都竹 淳也 岐阜県障がい児者医療推進室長

主催: 岐阜県

後援: 岐阜県医師会・岐阜県小児科医会・岐阜県歯科医師会・岐阜県看護協会

お問い合わせ(事務局): 岐阜県健康福祉部地域医療推進課 障がい児者医療推進室

〒500-8570 岐阜市葦田南2-1-1 TEL (058) 272-8279 FAX (058) 278-2871

お申込み先



お申し込みはFAXでお願いいたします
FAX: 058-278-2871

障がい児者医療推進室：山田・馬瀬口
締切：平成27年7月17日(金)

第5回岐阜県小児在宅医療研究会 出席申込書

申込者所属 (施設名など)		
申込者 連絡先	(住所) 〒	—
	TEL	FAX
	メールアドレス (今後のご案内を電子メールでお送りしたいと思いますので、ご了承ください) <input type="text"/>	
出席者氏名 ・ メール アドレス	1	(職種:)
	2	(職種:)
	3	(職種:)
	4	(職種:)
	5	(職種:)
ご連絡事項	★参加にあたり車イスなど特別な対応が必要な場合はご記入ください ★保育サービスはございませんので予めご了承ください	

会場へのアクセス

会場：岐阜県立看護大学 講堂
(羽島市江吉良町3047-1)

岐阜羽島駅／南口から徒歩15分

自家用車でお越しの場合、
駐車場へはキャンパス北通用口から
お入りください

